

2015年9月26日～30日にリスボンで開催された CIRSE 2015(第30回欧州心臓血管 IVR 会議 Cardiovascular and Interventional Radiological Society of Europe)に参加させて頂きました。

なぜに放射線治療医の村木が IVR の学会に???と思いますが、小生が 2014,2015 年に頭頸部癌学会で発表した進行喉頭癌に対する RADPLAT(シスプラチン動注併用化学放射線療法)のまとめを今回、田中先生が CIRSE で発表されるので聞きに来ないかと田中先生に誘って頂いたことがきっかけです。放射線治療センターも忙しい中、やや気が引けましたが、淡河教授より「しっかり勉強してきなさい。」と許可を頂けたので参加してきました。

CIRSE は年に一度ヨーロッパの各地で行われる欧州最大の IVR 学会で、最近ではアメリカの SIR を参加者で抜いてこの分野では世界最大の学会だそうです。

リスボンは滞在中、毎日晴天で最高気温は 30°C と夏日でした。会場はテージョ川にかかる「4月25日橋」の近くのコンベンションセンターでした。今回の参加者はおよそ 6600 人で日本からも多くの放射線科医が参加していますが、口演発表は 4 人だけだったようです。田中先生は頭頸部領域の IVR の発表セッションで、会場は盛況で開始までには満席になっていました。そのセッションのトップバッターは田中先生の発表で” Mid-term clinical results of larynx-preserving approach for advanced laryngeal cancer using modified RADPLAT.” という演題でした。口演時間は 10 分で時間内にわかりやすいプレゼンをされた田中先生に対してデンマークの座長 Dr.Kuroencke から「そんなに成績の良い治療なのになぜ普及しないのか?」と質問があり、「経静脈的化学放射線療法と違い、頭頸部領域の動注を行う IVR 医に限られていることが原因です。」と応答されていました。会場の興味をひく治療成績である RADPLAT への期待と今後の問題点がディスカッションされました。改めて RADPLAT の存在感を認識できた発表でした。久原先生はポスターセッションで” A case of giant pharyngeal venous malformation successfully treated by transoral sclerotherapy.” という演題を発表されていました。CIRSE の会場ではサイバーポスターのみで構成されており、タブレットを利用したサービス等、近年の国際学会の IT 化も便利になってきていると感じました。田中先生の口演が終わると、会場の外ではシャンパンが振る舞われており、調子によって飲みすぎた結果、肝心のディナーではワイン一杯でフラフラになってしまいました。学会の醍醐味の一つは食事だと思います。初日はアルファマ地区でファドを聞きながらポルトガル料理を楽しみました。最初は男性の比較的テンポの良いファド、その後は比較的若い女性 3 人が入れ替わって一人数曲を唄い、最後は初老の女店主が一番哀愁のあるファドを唄い会場は最高潮になりました。全 6 ステージを聴き終えた後はリスボンの夜景をみて帰りました。翌日はテージョ河をフェリーで渡って、リスボン対岸の小さな港町カシーリャスでシーフードを食べたのですが、これがまた抜群に美味しかったです。土地勘のない場所でのお店探しも旅の楽しみの一つですが、今回は予約なしで入った店も含めてハズレのない旅だったと思います。

大航海時代の 15 世紀末から 16 世紀末まで香料貿易や植民地政策で栄華を極めた欧州最西端の国ポルトガルですが、現在は EU の中でもギリシャの次はポルトガルかと言われている程、困難な経済状況のようです。そんな国内事情にもかかわらずリスボンは殺伐とせず明るい雰囲気を残した都市でした。

今回の学会を通して気づいた事があります。3人に共通したことは、各々丁度良いマイペースなのでちょっとした想定外な出来事でも3人ともあまり動じない&「なるようになるもんですね～」と終始穏やかで心地良い一週間でした。

今回は田中先生、久原先生と一緒に連れて頂いた学会だったので、次回はお返しに ESTRO にお二人を招待できたらと思っていたのですが、ESTRO2017の発表はRADPLATではなく、前立腺癌の演題を出してしまい、ウィーンへお連れできず申し訳ありませんでした

最後に長期の学会期間にもかかわらず、出張を許可して頂いた安陪教授、淡河教授をはじめ医局員や同門の先生方の支えあつての学会参加でした。心より御礼申し上げます。

